



新しい生活様式-支援まとめ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を長期的に防ぐため、買い物や食事など日常生活のさまざまな場面において「新しい生活様式」による感染対策を心掛けてください。皆様のご協力をお願いします。

日常生活の各場面別の生活様式

買い物



接触を減らすため
電子決済の利用

娯楽、スポーツ



狭い部屋での
長居はしない

食事



大皿を避けて配膳
回し飲みは避ける

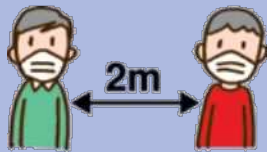
働き方の
新しいスタイル
仕事



テレワーク、時差出勤、
オンライン会議の活用

感染予防の基本

身体的距離の確保



人との間隔はできるだけ
2メートル空ける

マスクの着用



症状がなくてもマスク
を着用する

手洗い



家に帰ったらまず手や
顔を30秒かけて洗う

移動



地域間の異動は控えめ
にし誰とどこで会った
かメモしておく

※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

日常生活を営む上での基本的な生活様式

三密の回避

①密閉



※小まめに手洗いや
指先消毒、換気を行
うことや体温測定
などで体調の確認
などをしましょう。

②密集



③密接



その他の詳しい「新しい生活様式」の実践例
は生涯学習情報誌5月15日号や町のホーム
ページをご覧ください。
町ホームページ二次元バーコード⑤



くまモンイラストを活用しよう

県では、新型コロナウイルス感染防止のため、県民の皆さんに取り入れていただきたい「新しい生活様式」の定着に向け、新型コロナウイルス感染防止対策啓発用のくまモンのイラストを活用した広報を行っています。

また、このイラストは、県民の皆さんも、届出制（許諾不要）で、ポスターやチラシなどに活用することができます。詳しくは、くまモンオフィシャルホームページでご確認ください。



くまモンオフィシャルホームページ
<https://kumamon-official.jp/kiji0035179/index.html>

避難所

避難する際も新型コロナウイルス感染症への対応を忘れずに

大雨や台風など自然災害が発生しやすい時期を迎えました。災害時には断水により手指の流水洗浄ができない可能性があることや、避難所など密集した環境下での集団避難により新型コロナウイルスやノロウイルス、インフルエンザなどの感染が拡大するリスクが高まるため、感染予防対策に万全を期す必要があります。避難所が開設されるような災害が発生した場合に備え、事前に災害発生時の対応について考えておきましょう。

分散型避難行動判断フロー図

自宅避難

- ①気象情報に注意し、日頃からハザードマップなどにより自宅が土砂災害警戒区域や浸水想定区域でないかの確認をしましょう。
- ②備蓄品の確認や物の落下転倒防止の確認をしましょう。



親戚や友人の家などへの避難

災害時に避難生活が必要な場合、町指定避難所は過密状態になる可能性があるため、可能な場合は安全が確保された親戚や友人の家、最寄りの公民館などへ避難しましょう。
※接触機会が増えるため、感染予防対策を行ってください。



地域の公民館などの一時避難所への避難

町指定避難所への避難

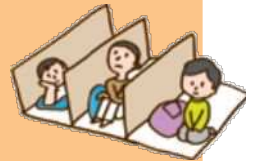
災害規模に応じ、町が指定した最寄りの避難所へ避難する。
※車中避難（避難所での過密状態を避けるため、避難所駐車場の車中に避難する）も必要に応じてご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症対策として、避難所での「3密」を避けるため、避難行動判断フローに沿った避難計画と日頃の準備をお願いします。

町の対応

- ・十分な換気の実施、スペースの確保

避難所内は、十分な換気に努めるとともに、避難者間の十分なスペースを確保（パーティションの活用など）に努めます。



- ・発熱、咳などの症状がある人への対応

発熱や咳など体調が不良な場合は、速やかに避難所担当職員や巡回保健師などが対応します。



避難所に持参するもの

避難所にはできる限りの物資を準備しますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するためにも各自での持参にご協力ください。

チェックリスト

- ・マスク（ない場合はキッチンペーパーと輪ゴムなどで代用）
- ・常備薬
- ・食料
- ・体温計
- ・ハンドソープや固形石鹸
- ・ティッシュペーパー
- ・ポリ袋 など



ハザードマップなどを確認しましょう

災害の備えや避難所利用などに関しては、「大津町洪水・土砂災害ハザードマップ」や「防災ハンドブック」などを活用ください。



大津町洪水等ハザードマップ
（町ホームページ掲載）

健康状態のチェック 次の症状がある際はご相談ください。

- ①息苦しさ、強いだるさ、高熱などの症状のいずれかがある場合。
- ②発熱や咳など比較的軽い風邪の重症化しやすい人で、発熱や咳などの症状が4日以上続く場合。

熊本県新型コロナウイルス感染症専用相談窓口

☎ 096 (300) 5909 (24時間対応)